

日本放射線事故・災害医学会 第7回 年次学術集会

緊急被ばく医療の現状と課題 一次世代の育成と教育に向けて一

大会長 細井義夫

東北大学 大学院医学系研究科 放射線生物学分野

日時：2019年9月21日（土）10:00～17:30

会場：艮陵会館 2階 記念ホール

仙台市青葉区広瀬町 3-34（東北大学病院 南側）

URL：https://radiobiology.jp/JARADM/7th_meeting.html

プログラム

1. 緊急被ばく医療の新しい視点

造血幹細胞移植は急性期に必要なか？

プルトニウムの吸入と全肺洗浄

2. 最近の事故例

3. 原子力発電所内の被ばく医療体制

福島第一原子力発電所救急医療室

福島県ふたば医療センター

電気事業連合会

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部

4. 2019年以降の新しい緊急被ばく医療体制

原子力規制庁 長官官房 放射線防護グループ

量研機構 高度被ばく医療センター

5. 放射線教育の充実と人材育成

医学部医学科での放射線教育

看護学科での放射線教育

原子力災害医療研修

アンブレラ事業